

【FdData 中間期末：中学社会地理：北海道】

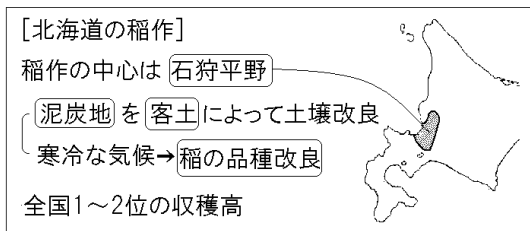
【北海道の農業：稲作】

【問題】(2 学期中間)

石狩平野は泥炭地で農業に向いていなかった。そこで、稲作などに適した土壌にするために他の土地から新しい土壌を持ってきて混ぜ込んだ。このことを何というか。

【解答】客土

【解説】



明治以降、北海道の開拓^{かいたく}が進められたが、北海道の冷涼^{れいりょう}な気候は稲作には向かないと考えられていた。しかし、寒さに強い稲^{ひんしゅかいりょう}を品種改良によって生み出し、稲作を可能にした。

北海道の稲作の中心となっているのは、夏の気温が比較的高くなる石狩平野^{いしかり}である。石狩川下流域

の石狩平野は、^{しっち}^か湿地に枯れた植物がつもり、低温のため分解が進まず、長年の間に^{たんか}^{でいたんち}炭化した泥炭地で、稲作に適していなかった。そこで、水路を整備して余分な水を取り除き、稲作に適した土に入れかえる^{きやくど}^{どじょう}客土という土壌改良が行われた。現在では、北海道は新潟県と1, 2位を争う米の^{しゅうかくだか}収穫高をあげるに至っている。

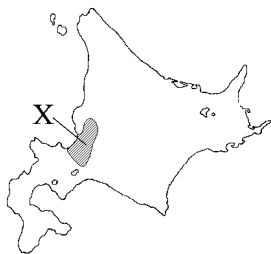
[問題](後期期末)

次の文の①, ②に適語を入れよ。

右図 X の(①)

平野は、かつては、枯れた植物がつもった泥炭地が多かったが、土地を改良するため、性質の異なる

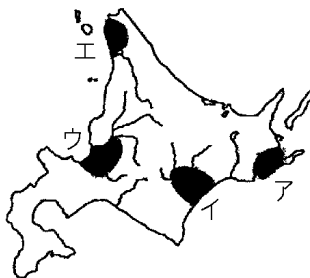
土を入れる(②)を行い、さらに、寒さに強い稲を品種改良によって生み出したことで、現在では北海道を代表する稲作地帯になった。



[解答]① 石狩 ② 客土

[問題](後期中間)

北海道は田の割合が少ないものの、米の生産量は全国1位、2位を争っている。



- (1) 寒冷な北海道で米作りがさかんな地域を地図中のア～エから1つ選べ。
- (2) (1)で選んだ地域で米作りがさかんになった理由を述べた次の説明文の①～③にあてはまる語句を下の[]から選べ。

水が豊富で、道内では比較的温暖なこの地域では、(①)によって(②)を改良し、(③)によって、寒さに強い品種を開発してきたため、稲作がさかんになった。

[泥炭地 火山灰土 客土 品種改良]

- [解答](1) ウ (2)① 客土 ② 泥炭地
③ 品種改良

[問題](1 学期中間)

北海道は土地が広大であるため畑作や酪農がさかんであるが、稲作は、昔はあまり行われていなかった。しかし、様々な工夫によって稲作もさかんに行われるようになった。様々な工夫とは何か。2つあげよ。

[解答]稲作に適した土に入れかえる客土を行ったこと。寒さに強い稲を品種改良によって生み出したこと。

[問題](2 学期期末)

右図の斜線で示した道北・道東地方は、米を育てにくい環境になっている。それはなぜか。道央地方と比較して答えよ。



[解答]道北・道東地方は、道央地方と比較して寒冷であるため。

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com